

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

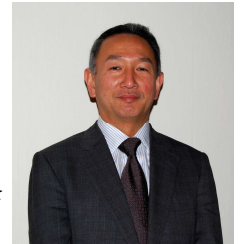
NEWSLETTER

目次：

女性研究者支援について 思うこと	P1
ロレアル・ユネスコ女性 科学者日本奨励賞を見学して	P1
第9回女子学生キャリア アップ支援コロキウムを開催	P2
オープンキャンパス2011 「未来のソフィーちゃん 集まれ！」を開催	P2
第2回「女子高校生のための Sophia実験教室」を開催	P2
お知らせ	P2

女性研究者支援について思うこと

学務担当副学長 暁道佳明



社会が複雑な構造を有し、それが故ともいえる政治、経済の停滞が発生する昨今、我々大学人としては知的生産が滞ることのないような仕組みづくりが必要です。社会動向の影響をできるだけ受けまいよう、研究環境(資金調達、人的配置を含む)を維持、発展させることにエネルギーを注がざるを得ません。

さて、私は機械工学の分野に属していますが、この分野では元来女子学生の割合は多くありません。本学において女子学生の割合は概ね10パーセント強程度です。他大ではもっと低い割合のようです。その中で博士前期課程に進む女子学生はさらに減り、博士後期課程に進む学生は皆無となります。ところが、今年参加したヨーロッパのコミュニティが主催する国際会議では、実に多くの女性研究者(博士予備軍の学生を含む)の発表がありました。彼女たちは世界の一流の教授陣と熱い議論を繰り広げていました。10年前とは

様相が随分と変わってきています。様々な分野で、多くの良質な論文が女性研究者によって発表され、先進諸国はもとより、これから大きな発展が期待される国々からも、女性研究者の研究成果が届くようになってきました。

もはやグローバル社会において、女性研究者を育てられない社会は、国際的に未熟であるという見方をされても致し方ありません。冒頭にも述べたように、大学は、社会の様々な、また時々刻々変化する状況を鑑みながら、一方で独自の視点で女性研究者の育成を推進しなくてはなりません。

本プロジェクトが我が国をグローバル社会の中で成熟させるための一策でもあることを念頭において、本学が先導役としての役割を果たしたいと考えます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学生レポート「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞を見学して」 上智大学大学院 理工学研究科 理工学専攻博士前期課程 羽太 優理



授賞式の様子

2011年7月12日(火)に、六本木ヒルズで行われたロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞授与式に出席させて頂きました。黒木メイサさんがプレゼンターということで興味を持ち、出席したのですが、ノーベル化学賞を受賞された白川秀樹先生を始めとした科学者の方々や、報道機関のカメラの数に圧倒されました。その中でも生命科学分野審査員の永田先生の言葉が一番印象に残っています。“受賞されたみなさんは研究内容が素晴らしかっただけでなく、研究に対する情熱と、それをより興味を引くような、研究に関してのプレゼン力が素晴らしかった”と。確かに受賞された4人の方の将来に対するの抱負や、女性研究者が

活躍するには、などの質問に対しても、確固たる意見と堂々とした受け答えを見ても感じることができました。

特別賞として東北大学の女性研究者の育成と支援を目的とする『サイエンス・エンジェル』が特別賞を受賞されましたが、3月に起きた大震災の後にも何とか活動を継続されているとのことでした。心なしか表情からも、あまり心から喜べないような心境であるように感じられました。しかし、この受賞を経て、サイエンス・エンジェルの活動が今まで以上にフィーチャーされ、活動の助けとなることを蔭ながら願っています。

*本報告の全文は、女性研究者支援プロジェクトホームページに掲載予定です。

第9回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催

「企業で働く」

講師：袖子田 志保氏（株）IH技術開発本部総合開発センター
制御技術開発部先端制御グループ



講演の様子

2011年7月6日（水）、第9回女子学生キャリアアップ支援コロキウムが10号館323教室で行われ、25名が参加しました。袖子田氏は、本学理工学研究科物理学専攻のOGであり、現在は女性エンジニアとして働きながら、お二人のお子さんの育児をされています。講演の前半は、女性エンジニアとしてのキャリアパスや研究活動、後半は、出産後のワーク・ライフ・バランスについて話されました。特に、業務においても、家事・育児においても、限られた時間の中で、効率的に物事を進めていくために、優先

順位を明確にすることや、押さえておきたいポイントを整理することの大切さについて言及されました。参加者からは、「仕事と家庭の両立はできるのだと知り、頑張ろうと思えた。」、「結婚・出産した場合の会社の手当てや生活スタイルの工夫等、リアルな話を聞くことで、企業を選択する上で参考になった。」等のコメントがありました。今回は、物理系の男子学生の参加も多く、ワーク・ライフ・バランスの話にも熱心に耳を傾けていました。

★ 次世代育成 ★

オープンキャンパス2011「未来のソフィーちゃん集まれ！」を開催

2011年7月23日（土）、24日（日）のオープンキャンパス2011で、女性研究者支援プロジェクトの次世代育成にむけた取り組みを2号館507教室にて紹介しました。活動紹介DVD、第1回女子高校生のためのSophia実験教室等の映像上映の他、女子高校生のためのプチSocial Cafeを開催し、理工学部の女子学生に直接質問や相談ができるコーナーも設けました。2日間で、320名以上の女子高校生、保護者が訪れ大盛況のうちに終了しました。

第2回「女子高校生のためのSophia実験教室」を開催

2011年7月30日（土）、3号館123教室にて、第2回「女子高校生のためのSophia実験教室」を開催し、42名が参加しました。本イベントは、午前・午後の二部形式で各回4つの実験を行いました。各実験コーナーでは、大学での実験をより楽しく身近に体験してもらうための工夫がなされ、高校生達も楽しくかつ、真剣に実験に取り組んでいました。



*詳しい報告は、女性研究者支援プロジェクトホームページに掲載予定です。

参加者の声

【オープンキャンパス】

- ・先輩と直に話せて楽しかった。上智の理工に入りたくなった。
- ・目指せ女性研究者！！



【女子高校生のためのSophia実験教室】

- ・難しかったらと不安だったが、わかりやすく説明してもらえた上に、とても親しみやすかった。
- ・理工学部の学生・先生の雰囲気が良く、より進学したいと思った。色々な理系女子の意見が聞けて良かった。



先輩の話に熱心に聞く女子高校生達



化学実験ブースの様子

お知らせ

第6回男女共同参画セミナー

「上智大学長が語る私の女性研究者支援とワーク・ライフ・バランス」
日 時：2011年9月21日（水） 13:30～15:00
場 所：上智大学12号館201教室

Alice Huang博士来日記念特別講演会

日 時：2011年10月7日（金）16:00～17:00
場 所：上智大学2号館17階 国際会議場
講演者：Dr. Alice Huang（米国科学振興協会会長）

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。7月には、オープン・キャンパス、Sophia実験教室の次世代育成のイベントを通じて、未来を見つめる高校生のまっすぐな眼差し、高いモチベーションに触れることができました。両イベントを通じ、私達が行う次世代育成にむけた広報活動の意義について、改めて考えさせられました。

問い合わせ・連絡先：

上智大学女性研究者支援事務局

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
場所：10号館3階315号室

電話：03-3238-4052 mail：wrsswg@sophia.ac.jp

http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport

